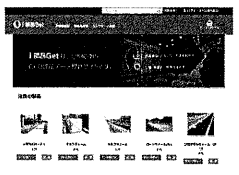
「i―部品Get」を正式オープン

資材CADデータを無料提供

物調

建設物価調査会（北橋建治理事長）は、土木資材などのCADデータ提供サイト「i―部品Get」（http://www.i-buhinget.com/）＝写真＝を立ち上げた。橋梁用製品、コンクリート製品メーカーなどが作成した2次元、3次元CADデータを無料でダウンロードすることができ、BIM／CIMの3次元モデル作成を効率化できる。



昨年11月から試験運用していたサイトを27日に正式にオープンした。建設コンサルタント各社が個別に作成している資材の3次元モデルを無料で提供し、モデル作成の効率性を高める。

サイトに登録したユーザー（無料）は、商品・メーカー名・CADファイル種別でデータを検索できる。将来的にサイトに搭載するデータに建設物価調査会独自の属性情報（価格情報、流通情報など）を付与し、さらに利便性を高めることも検討している。

サイトにCADデータを掲載するメーカー・団体も募集している。掲載料は無料だ。

27日時点の掲載メーカーは次の通り。

▽ホクコン▽千葉窯業▽武井工業所▽ケイコン▽丸栄コンクリート工業▽ショーボンド建設▽秩父産業▽東京ファブリック工業▽川金コアテック▽橋梁メンテナンス▽タイクレ▽JFE建材▽日本支承協会▽日東▽中外道路▽日本鋳造▽ゼニス羽田▽藤林コンクリート工業▽セキサンピーシー▽日本マテリアル工学▽三和産業▽ホクエツ関東▽土屋建材▽アドヴァンス▽植平コンクリート工業▽共栄建材工業▽マシノ▽芳賀セメント工業▽ソイル工業▽ゴトウコンクリート▽倉澤高圧コンクリート▽パスキン工業▽佳駿日駿エンジニアリング（順不同）

JS 技術開発HPをリニューアル

日本下水道事業団（JS）は、技術開発に関するホームページをリニューアルし、「JS-TECH～基礎・固有・技術開発の扉～」と題して公開した。下水道事業の運営主体の課題に応える「受託調査メニュー」や、技術開発の要望を受け付けるページを新設した。URLはhttps://www.jswa.go.jp/g/g.html

地方公共団体の委託に基づいて行う受託調査については、事業・技術支援メニューを「受託調査の扉」コーナーで紹介。「水処理施設の能力・性能評価および課題解決型最適化方策検討業務」など受託調査のメニュー例を示すとともに、これまでの地方受託調査の内容を公表している。

ホームページではこの他、JSが独自に行っている調査研究や、民間企業などとの共同研究の実績などを紹介。JSの受託建設事業への新技術導入の促進に向けた取り組みや、選定された新技術については、事業・技術支援メニューを「受託調査の扉」コーナーで紹介。

住まいづくりナビセンター スキルアップセミナー開く

リフォーム評価ナビに登録事業者対象

住まいづくりナビセンター（中央区、坂本功理事長）は24日、リフォーム評価ナビの登録事業者を対象にした「スキルアップセミナー」を同社で開いた。登録事業者約60人が参加し、リフォーム市場の現状やナビを活用するポイントなどの説明に聞き入った。

坂本理事長＝写真＝は、「ナビの登録事業者は年々増加し、現在914社となった。このセミナーで学んだことを業務に役立ててほしい」とあいさつした。

同センターの特別顧問である杜本孝夫氏が、「リフォーム市場の課題と情報発信力の強化について」をテーマに講演。「リフォームの市場規模は5・6兆円と、まだ未成熟。施工店の営業情報や東京都のリフォーム関連施策についてなどを紹介した。

町田市建設業協会が防災訓練

樹木撤去と人命救助実施

町田市建設業協会（土屋善会長）は26日、成瀬中学校地内で開かれた総合防災訓練に参加し、協会員らが重機による樹木の撤去や人命救助活動などを実施した＝写真。

土屋会長は「西日本豪雨災害など自然災害が頻発している。われわれ協会は常に消防団など団体と協力関係を結び出動体制を整えている」と話した。訓練は、災害により家屋や樹木が倒壊したことを想定して行われた。

都総務局 防災展2018 臨海防災公園で10月13、14日

東京都総務局は10月13日と14日の2日間、江東区有明の東京臨海広域防災公園で「防災展2018」を開く。内閣府などが主催する「防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2018」の一部で、都の防災対策を紹介する他、災害対策用車両の展示や子供向けのワークショップなどを行う。時間は13日が午前10時～午後6時、14日が午前10時～午後4時。

インフラ整備へ協力

国交省、関経連が懇談会

関西経済連合会（松本正義会長）と国土交通省の幹部が28日に都内で懇談し、G20サミットやラグビーワールドカップの開催、万博誘致に向け、交通インフラの整備やインバウンドの受け入れ体制強化に協力して取り組むことで一致した。石井啓一国交相＝写真＝は「国際イベントの成功に向け、国交省としても力強く支援したい」と約束した。

関経連の松本会長は2019年のG20サミットとラグビーワールドカップ、21年のワールドマスターズゲームズ関西に続き、「誘致が成功すれば25年には万博と、国際イベントが自国押しとなっている」と説明。「このような好機を逃すことなく、関西の飛躍に結びつけなければならない」と続け、向け、国交省としても力強く支援したい」と約束した。

関経連の松本会長は2019年のG20サミットとラグビーワールドカップ、21年のワールドマスターズゲームズ関西に続き、「誘致が成功すれば25年には万博と、国際イベントが自国押しとなっている」と説明。「このような好機を逃すことなく、関西の飛躍に結びつけなければならない」と続け、向け、国交省としても力強く支援したい」と約束した。

石井国交相は「関西のポテンシャルをさらに高めるべく、インバウンドの受け入れ環境整備、交通ネットワークの整備、南海トラフ地震への対応など、官民が連携してインフラ整備を進めたい」などと応じた。

国測協 地籍調査管理技術者資格試験 東京と岡山で実施

日本国土調査測量協会（藤井裕久会長）は、11月30日と12月1日に東京と岡山で「地籍調査管理技術者資格試験」を実施するため、受験申し込みを9月30日まで受け付けている。

受験資格は、測量士または測量士補の有資格者、もしくは情報処理技術者試験と基本情報技術者試験の合格者で地籍調査に関する技術的な実務経験が5年以上。また、同協会の地籍調査管理士（技術者補の有資格者は、資格取得以降の地籍調査に関する技術的な実務経験が2年以上（資格取得に関わる受験年度を含む）。

同試験は、養成講習と筆記試験を行う。東京会場は日本教育会館（千代田区）。岡山会場は岡山商工会議所（岡山市北区）。受験料は3万円（会員は2万円）。

問い合わせ先は事務局電話03（3239）3867。

ミラクルソル協会 金沢で初の技術講習会

多様な活用事例を説明

ガラス廃材を再資源化した新素材である「ミラクルソル」の多様な活用に取り組むミラクルソル協会（原裕理事長）は22日、第22回「ミラクルソル工法」技術講習会を金沢市内で開いた＝写真。官公庁や地元建設コンサルタント、建設会社など約80人が参加した。

同協会が金沢市で技術講習会を開くのは初めて。冒頭、あいさつに立った原理事長は「1995年に当時の通産省から技術開発費を頂き、ガラス廃材を再資源した吸水性のミラクルソルをつくった」と開発の経緯を説明。「環境負荷低減を目的とした、約20年の実績のある工法だ」と話した。

特別講演では、先端建設技術センターの理事長で、元国土交通事務次官の佐藤直良氏が「社会資本の未来に向けて」と題して講演。最新の測地技術やBIM・CIM、情報化施工など、今後主流になる技術について説明する一方、同時に、現場の踏査や調査などでの人の力や熟練工の育成が重要になることを強調した。

また、原理事長が「多目的環境材料ミラクルソルの活用技術―環境土木～環境緑化工法―」をテーマに講演。ミラクルソルによって路面温度を低下させるFWG透保水性舗装工法や、FWG軽量盛土工法による災害復旧をはじめ、屋上緑化、斜面緑化など多岐にわたる施工事例を紹介した。

さらに協会顧問の荒木宏之・前佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長が、「環境材料ミラクルソルの魅力」と題して、ミラクルソルと、これを発展進化させたゼオライト化ミラクルソルによる水質浄化と資源回収について原理と実例を説明した。さらにハイブリット型へ進化した吸着材の仕組みと広範囲な活用の可能性を提示した。

自動運転タクシー 公道実験

三菱地所と森ビルが協力

第1号の乗客と車両

自動運転開発用プラットフォームなどを手掛けるZMP（文京区）と日の丸交通（文京区）は、自動運転タクシーによる公道営業実証実験を27日に開始した。三菱地所（千代田区）が大手町フィナンシャルシティ グランキューブの、森ビル（港区）が六本木ヒルズのいずれも車寄せスペースなどを提供し、両建物を結ぶ大手町～六本木の約5・3㌔を、9月8日まで1日4往復する予定。料金は片道1500円（税込み）。

午前9時には、センサーを取り付けた実験車両がクランキューブに到着。最初の一般客となる家族連れ3人がスマホを使ってドアをはじめ開け乗車すると、自動制御された車両が、都心の道路へゆっくりと走り出した。

ZMPと日の丸交通は、2020年の自動運転タクシーの実用化を目指し協業。熟練したタクシードライバーの走行データを収集するなどして自動運転の仕組みを構築し、配車システム、予約・乗車するためのスマートフォン用アプリケーション、走行監視システムなども開発した。

「人材不足を補完」

ZMPの西村明浩取締役は「交通弱者を交通〝楽〟者にしたい」と、日の丸交通の富田和孝社長は「人材不足が続く中、一般のタクシーを補完することができれば」と語った。

タナベ経営 女性リーダースクール説明会 9月7日に開催

タナベ経営（大阪市淀川区）は、9月7日に企業の成長に貢献する女性リーダーの育成支援を目的とした「女性リーダースクール」の無料説明会を、都内で開催する。

説明会では、同社の女性リーダースクールについて説明する他、これからの女性活躍を推進するポイントを解説する。参加の対象は経営幹部や人事担当者など。開始は午後4時から。会場は同社東京本社（千代田区）。

問い合わせ先は電話06（7177）4008。定員は10人。申し込みはウェブ（https://lmab.jp/conversion/10/307/）から受け付けている。

清水建設工業が夏休み親子ふれあい工作教室

70人が飾りいす作りに挑戦

清水建設工業（小平市）は25日、第17回夏休み親子ふれあい工作教室を同社で開き、親子約70人が飾りいす作りに挑戦した＝写真。

工作教室では同社や協力会の社員ら18人が準備や指導を担当。子どもたちは金づちや紙やすりを使っていすを組み立て、デコレーションを行った。特別講演では動物園ライターの森由民氏が「動物と怪物たち」をテーマに講義し、動物を基に想像された怪物を紹介した。また、工作教室後に子どもたちは、お菓子のつかみ取り、流しそうめん、かき氷などを楽しんだ。

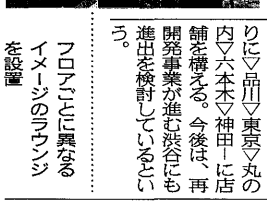
清水邦明社長は「ものづくりの楽しさを子どもたちに知ってもらいたい。地域社会に貢献することを目指して取り組んでいる」と話した。

東急不動産 新橋に会員制シェアオフィス

東急不動産（港区）は27日、会員制シェアオフィス「Business Airport（ビジネスエアポート）」の7店舗目となる「ビジネスエアポート新橋」を開業する。新橋駅から徒歩1分の立地で、個室のサービスオフィスとシェアワークプレイスなどを備える。「ビジネスエアポート」は首都圏を中心に年間3～4店舗の出店を計画している。

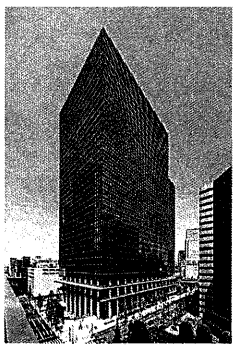
新橋」は、港区新橋1丁目にある「A-PLACE新橋駅前ビルの5、6～8階の延床面積約2030平方㍍に展開する。サイズや仕様が異なる89室の個室を設置。初めての試みとして、ラウンジとミーティングルームを24時間利用可能にした。所在地は、港区新橋1ノ12ノ9。

同社は2013年にビジネスエアポート事業に着手。労働人口が減少し、生産性の向上や多様な働き方の実現が求められる中、大企業からベンチャー、個人まで全てのビジネスパーソンを対象にしたビジネス支援の場を提供する。青山を皮切りに▽品川▽東京▽丸の内▽六本木▽神田―に店舗を構える。今後は、再開発事業が進む渋谷にも進出を検討しているという。



フロアごとに異なるイメージのラウンジを設置

「大手町プレイス」が竣工 URとNTT都市開発



大手町プレイス ウエストタワー

「大手町プレイス」が竣工した。UR都市機構（横浜市中区）とNTT都市開発（千代田区）が都市機能強化を目的に進めてきた「大手町二丁目地区第一種市街地再開発事業」の施設で、ウエストタワーとイーストタワーからなる。総延床面積は35万4000平方㍍で、事務所、店舗、カンファレンス、地域冷暖房施設、駐車場などで構成される。建設地は千代田区大手町2ノ3ノ1、2。敷地面積は1万9900平方㍍。

ウエストタワーは地下3階地上35階建て延べ20万2000平方㍍。設計は日本設計（新宿区）、施工は竹中工務店（江東区）が担当。用途は店舗、インターネットデータセンター、オフィスなど。

イーストタワーの規模は地下3階地上32階建て延べ15万2000平方㍍。設計・施工は大林組（港区）が担当。駐車場、カンファレンスセンター、オフィスなどで構成する。

大手町駅、東京駅、神田駅方面の3方向を「セントラルプロムナード」がつなぐことで新たな歩行者ネットワークを形成し、回遊性を高める。さらに、災害時に帰宅困難者一時滞在施設として開放、防災備蓄倉庫も備えられており、3000人が3日間過ごすことができる。

総会

●建設業法実務研究会

建設業法実務研究会（中西豊会長）は24日、第37回定時総会を開催し、建設産業の法務と関連する実務の研さん、研修会・セミナーの開催などを盛り込んだ2018年度事業計画を決めた。

中西会長＝写真＝は、「建設キャリアアップシステムへの対応など課題は多いが、業界の活性化に向けて会員の皆さんの協力をお願いしたい」とあいさつした。

総会後の意見交換会では、経営業務の管理責任者に何を求めるか、また人材が限られている中で、いかに効率的に営業を進めていくかなど参加者が討論した。

新規 建設業許可業者一覧

電子版会員なら 詳細データをダウンロードして印刷（無制限）オリジナルに掲載

許可年月日	許可番号	商号名称	住所	許可業種	代表者名	法／個	資本金（千円）
2018/2/27	13-148426	大都興産㈱	府中市宮町1-34-2	鋼構造物・内装	平山貴章	法人	10,000
2018/2/27	13-148427	㈲巨人工業	東大和市奈良橋3-464-2	防水	小松崇光	法人	3,000
2018/2/27	13-148428	㈱歩興業	府中市本宿町3-28-14	土・と・石・ほ	佐藤隆二	法人	500
2018/2/27	13-148429	㈱Lateensail&Livegraphics	港区海岸2-6-24	内装	山形龍司	法人	3,000
2018/2/27	13-148430	atomic㈱	江戸川区大杉2-13-2	ほ装	鈴木貴人	法人	300
2018/2/27	13-148431	㈱BIG FIELD	板橋区志村2-11-4	内装	大野亮宜	法人	5,000
2018/2/27	13-148432	㈱ネットアルファ	千代田区飯田橋2-13-7	電気・通信	竹下 剛	法人	195,000
2018/3/5	13-148433	㈱三基	足立区椿2-26-7	管	本間重治	法人	20,000
2018/3/5	13-148434	アームリンク㈱	八王子市川口町3754-2	解体	中嶋大樹	法人	2,000
2018/3/5	13-148435	セントラルデザイン㈱	港区港南1-8-40	建・鋼・内	堀 章子	法人	30,000
2018/3/5	13-148436	㈱チャンネルゼロ	渋谷区渋谷1-4-6	土・と・石・鋼・ほ・し・塗・通・水・解	吉川順司	法人	5,000
2018/3/5	13-148437	㈱シティライフ	目黒区鷹番2-15-12	建築・内装	佐藤軍仁	法人	10,000
2018/3/6	13-148438	㈱杉田建業	八王子市川口町989-1	大工	杉田智紀	法人	6,000
2018/3/5	13-148439	㈱ネオシーリング	府中市四谷1-23-5	防水	昆野英樹	法人	100
2018/3/5	13-148440	阿多 稔	東村山市恩多町1-40-3	大工	阿多 稔	個人	
2018/3/5	13-148441	㈱DCT	港区海岸2-1-18	電気	伊藤佳正	法人	10,000
2018/3/5	13-148442	㈱クライム	墨田区立川2-2-6	内装	兒島英一郎	法人	10,000
2018/3/5	13-148443	㈱RKS建設	台東区橋場2-1-16-203	とび	横山広泰	法人	1,000
2018/3/5	13-148444	多摩コーポレーション㈱	立川市高松町1-100	機械	山田哲夫	法人	50,000
2018/3/5	13-148445	㈲朝日建装	新宿区上落合3-20-19	内装	朝日 健	法人	3,000
2018/3/5	13-148446	㈲アイワ空調	小平市上水本町2-18-20	管	内田雄治	法人	3,000
2018/3/5	13-148447	㈱正木組	葛飾区西水元3-12-8	とび	正木信義	法人	1,500
2018/3/5	13-148448	河路 充弘	北区田端新町3-15-8	建・大・屋・タ・内	河路充弘	個人	

民間人事

機構改革

◇飛島建設（9月1日）建築事業本部副部長（ソリューション部副部長）計画グループ長 髙橋義弘

◇飛島建設（9月1日）本社建築事業本部・耐震ソリューション部に耐震設計グループを新設する。

イベント情報

■「西東京市にエコディストリクトをつくる」展示会 9月2日／西東京市

一つの地区内に建物、オープンスペース、緑のある街路、農地、雨水活用システムなどを導入し、環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指す取り組みのポスター展示会。「若者が住みたい・住み続けたいまち」「農のある暮らしと健康応援都市」をテーマにしたミニシンポジウムも開く。時間は午前10時～午後5時。会場は西東京いこいの森公園。問い合わせ先は都市計画課 電話042（438）4050。

■賃貸オーナー向けイベント「全国賃貸オーナーズフェスターn東京2018」 10月27日／エイブル

賃貸経営を成功に結び付けるためのノウハウや賃貸市場を取り巻く現状、今後の展望など、賃貸オーナーやこれから賃貸経営を検討している人向けに情報を提供する。ハウスメーカーや住宅設備会社、金融機関など賃貸関連企業が「見て・聞いて・触れる」ブースを出展する他、スペシャルトークショーにはフリーアナウンサーの徳光和夫氏が登場する。この他にも棋士で投資家の桐谷広人氏や東洋大学教授・慶應義塾大学名誉教授の竹中平蔵氏ら多彩な講師が専門的な見地から講演を行う。会場はグランドプリンスホテル新高輪（港区）。

局 都建設局東部公園

18年度優良工事等感謝状贈呈式 4社を選定、表彰

東京都建設局東部公園緑地事務所は24日、2018年度優良工事等感謝状贈呈式を開いた＝写真。昨年度に優良な設計・工事を実施した4社を招き、大道和彦所長が賞状と記念品を手渡した。

大道所長は「主な事業である23区の公園・文化財庭園の管理とともに、今は2020年東京オリンピック・パラリンピックの会場整備が急務となっている。委託・工事ともにさまざまな事情で見直しや遅れなどが生じてしまうことがあるが、そんなときに皆さんの卓越した技術と経験で、安全かつ迅速に業務を遂行していただき感謝する」と謝辞を述べ、「今後も引き続き協力をお願いする」と呼び掛けた。